

㊦ あいんご通信2007(7月号)

発行者：社会福祉法人
八千代市身体障害者福祉会
はばたき職業センター
施設長 阿部 裕一

★「新型コロナウイルス」に関する情報提供及びはばたき職業センターの対応についてお知らせします。

一旦は感染者が一桁台が続いていた「新型コロナウイルス」ですが、ここに来て首都圏を中心として感染拡大の傾向が見られます。千葉県に於いても浦安市の病院でクラスターが発生する等同様の兆候があり、今後の動向に不安が広がっています。はばたき職業センターでは6月から在宅ワークから作業時間を短縮した上で通所による事業活動を行い7月1日(水)からは通常の作業時間に戻して新たな生活様式の指針に沿って感染対策を講じながら作業を行っていますが、前述のとおりこれ以上感染拡大が広がり利用者の通所に於ける安全確保が難しいと判断される場合には躊躇なく、通所時間の変更や再度の在宅ワークへの取り組みを検討したいと思っております。利用者・ご家族の皆さま型にはご不便をおかけしますがご理解ご協力のほどお願いいたします。

★2019(R元)年度事業報告・決算について報告します。

＜事業内容＞

(1) 就労継続支援B型(定員30名)

働くことを通して工賃額の維持・向上を目指しました。具体的には、利用者一人ひとりに適した生産活動の機会を提供すると共に「千葉県工賃向上計画」で本年度の目標とした42,670円(1人/月)の達成を目指し、生産活動に積極的に取り組み目標を達成することができました。

- ・版下科/印刷科—受注頂く顧客を大切にしながら良品製造ときめ細かい対応を心がけて事業を展開しました。前年度と比較すると売上は減少しているものの利益は約145万円増加しました。
- ・受注生産—取引先と調整しながら安定的に作業を確保し、内容によっては他科との協力を図りながら売上向上を目指しました。前年度と比較して若干減収益でしたが、利用者が積極性を持って作業に従事できました。
- ・園芸—定期的な販売活動に加え各種イベントへの積極的な参加を行いました。年間の生産計画を立てなるべく売り切るように意識して取り組んだ結果、前年度と比べて利益が約20万円増収につながりました。定着した福祉センター前での販売も利用者任せることが出来ていま

(うらへ続く)

す。地域販売活動では「イオン緑が丘店」「ユアエルム八千代台店」等に協力頂き、販売の機会を増やすことが出来ました。

- ・利用人数一のべ6,806名（1日平均27.3名）
- ・新規契約—6名 契約解除—5名

<年間収支>

	版下／印刷	園芸	受注生産
受注数	511件	213件	38件
収入	21,351,974円	7,815,935円	1,719,652円
支出	13,716,899円	3,028,201円	186,781円

- ・工賃支払額—14,081,100円（1人平均／月42,670円）

(2) 就労移行支援（定員6名）

利用者の一般就労に向けて清掃訓練・基礎学習訓練・軽作業訓練・企業実習・企業面接・ハローワーク同行支援等を中心に支援を行いました。

- ・利用人数一のべ296名（1日平均1.2名）
- ・新規契約—1名 契約解除—1名 一般就労—0名

(3) 就労定着支援

- ・利用人数—3名（年度末）

★利用者の動向についてお知らせします。

6月20日から7月21日まで新しく施設利用を契約された方または施設利用を解除された方はいませんでした。なお、7月21日現在の利用者数は33名、就労移行支援利用者3名（定員6名）、就労継続支援B型利用者30名（同30名）となっています。

★前月度の収支の現況についてお知らせします。

	収入	支出	収支差額	経費率
印刷	698,343円	413,491円	284,852円	59.2%
園芸	504,914円	172,032円	332,882円	34.1%
受注生産	60,964円	12,538円	48,426円	20.6%
工賃額	就労継続支援B型 42,000円（円／1人）			

★ご寄付のお礼を申し上げます。

君塚 欣哉（本会評議員）様のペットボトルの飲み物を箱で、また（株）周郷建設様よりメロン2玉を頂戴しました。施設の行事や給食で利用者提供させて頂きます。ありがとうございました。

※当月度及び次月の施設行事予定は次号で一括掲載となります。